



九州大学のオンライン授業に関する 学生アンケート（春学期）について

- ① 調査概要
- ② 調査結果
- ③ まとめと今後の展望

九州大学教育改革推進本部 野瀬 健
長沼祥太郎

はじめに 九州大学教育改革推進本部のご紹介

- 全学的な教育改革を組織的に推進するため、**総長を本部長として、そのリーダーシップの下、エビデンスに基づく教育改革の取組を進める組織。**
- **春学期期間中に迅速に全学的な学生の動向調査を実施し、夏学期以降の指針とすることとした。**

(キャンパスライフ・健康支援センター(CHC)と連携)

➤ 学生生活アンケート (一部を報告)

➤ オンライン授業に関するアンケートを同時実施。(本日報告)

① 調査概要

- 目的：春学期（第一クォーター）におけるオンライン授業の現状把握および夏学期に向けた改善の示唆を得るため
- 対象：九州大学の全学生
- 総回答者数：4,933人（回答率：27%）
- 有効回答数：4,835（結果の公表に同意した人数）
- 実施期間：6/1-6/9
- 調査方法：Moodleを利用したWebアンケート（日・英）
- 調査項目数：全28問

(2020年7月1日現在)

1. 調査概要

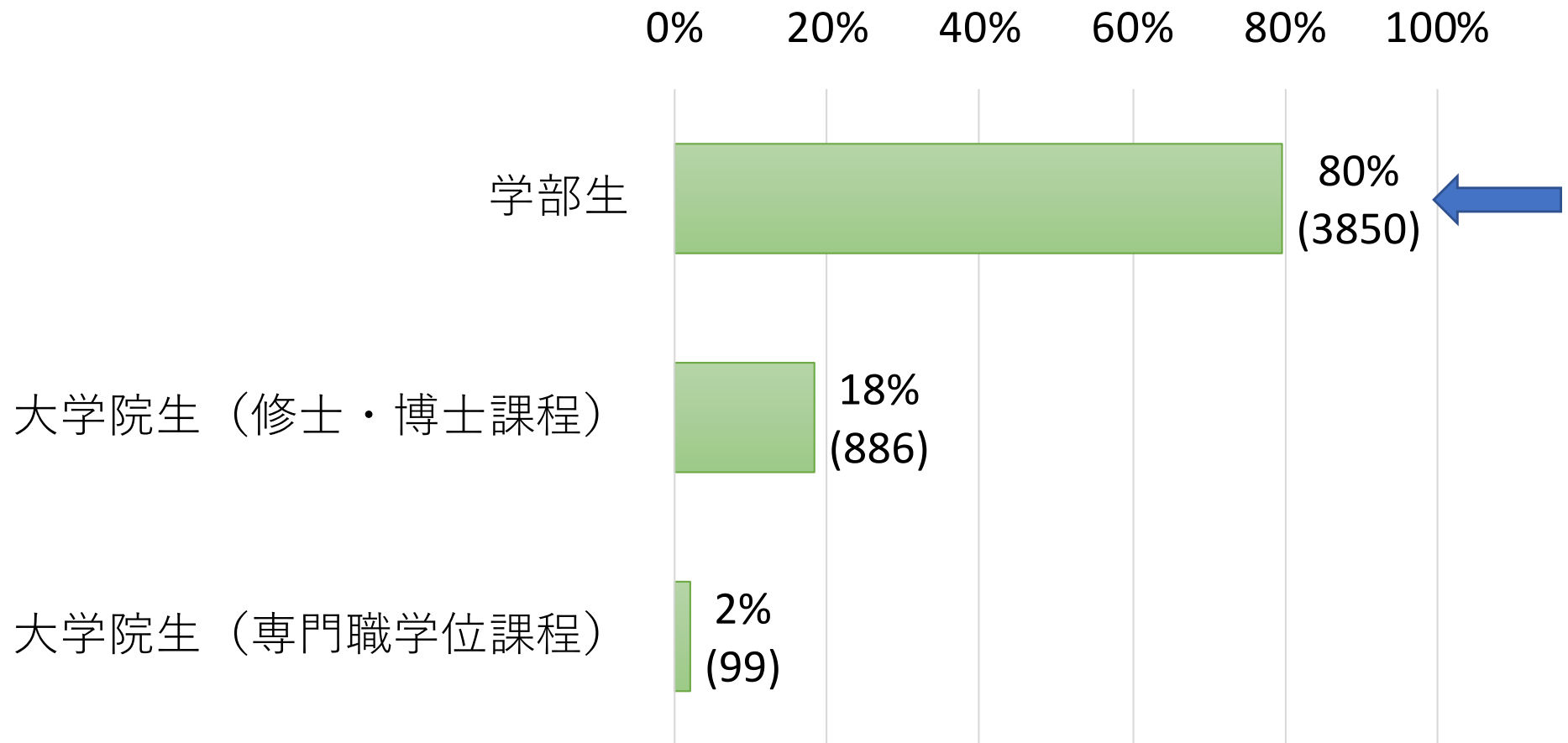
- 調査項目数：全28問（以下、一部抜粋）
 - 自宅のネット環境の満足度
 - オンライン授業で経験した活動
 - オンライン授業での個々の項目に関する満足度（課題の量、教員や他の受講生とのコミュニケーションなど）
 - 経験した授業形式（リアルタイム型、オンデマンド型）
 - 受講中に感じたこと、授業態度
 - 今後のオンライン授業受講希望の意思とその理由
 - 授業を受けてみての全般的な感想



② 調査結果

1. 所属教育課程

パーセント（回答数）

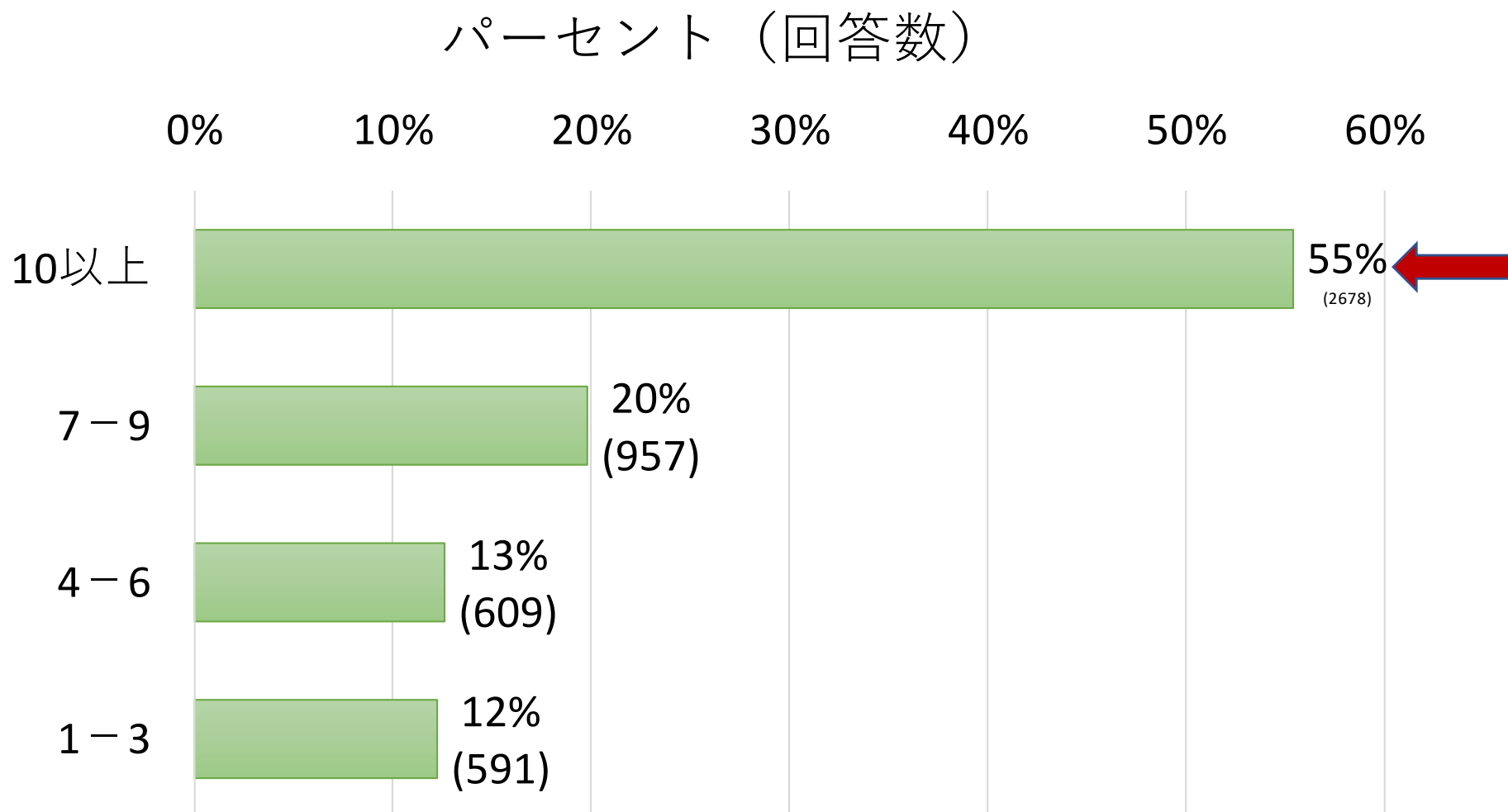


2. 新入生のオンライン授業の受講場所等

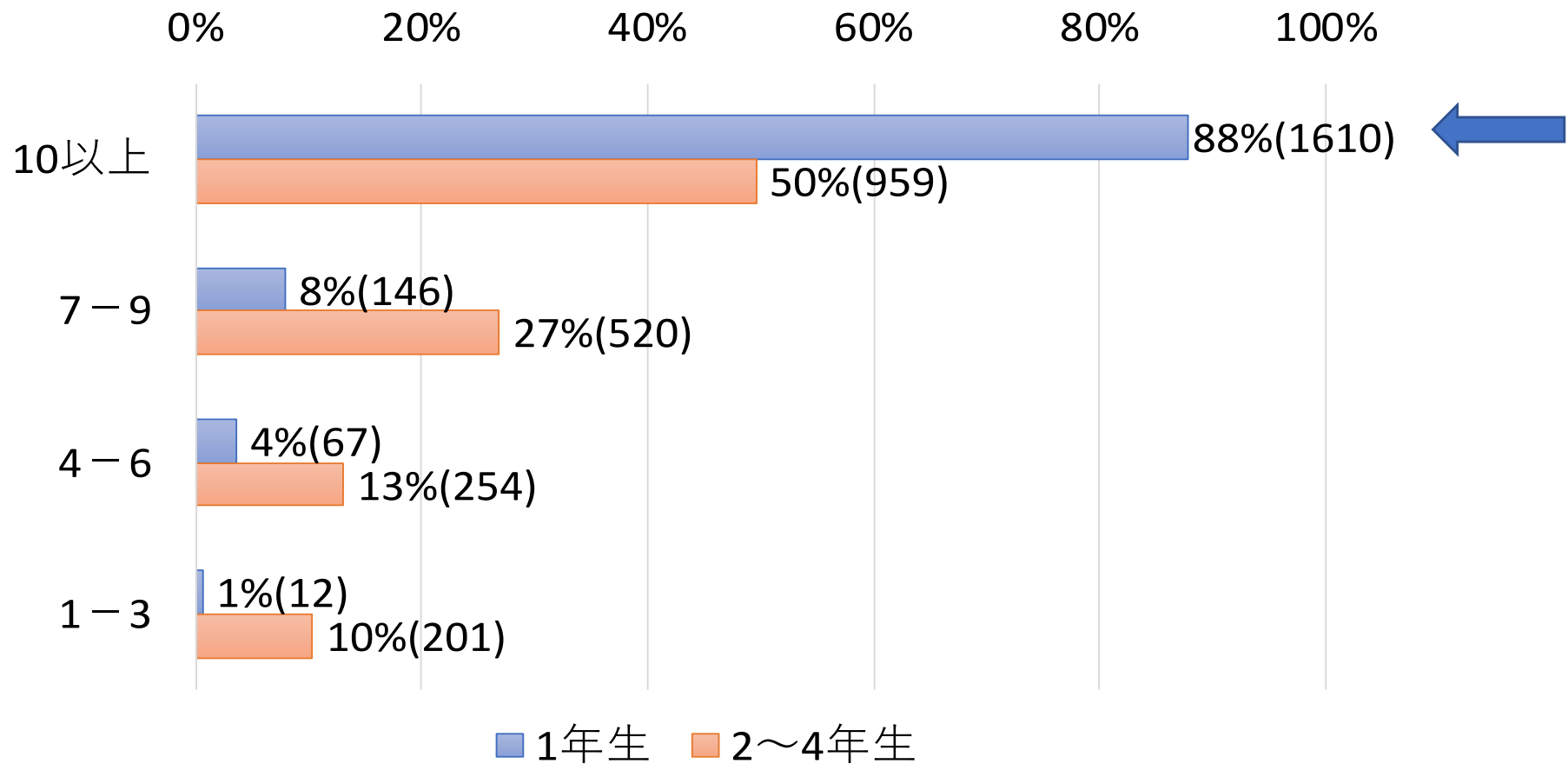
受講場所等	該当人数
<u>福岡県外</u> で受講中（一部受講を含む）	696名
<u>日本国外</u> で受講中（一部受講を含む）	16名

→712名（新入生回答者の約4割）が県外・国外でオンライン授業を受講中

3. 春学期授業期間中にオンライン授業を何科目受講していますか（全学生）

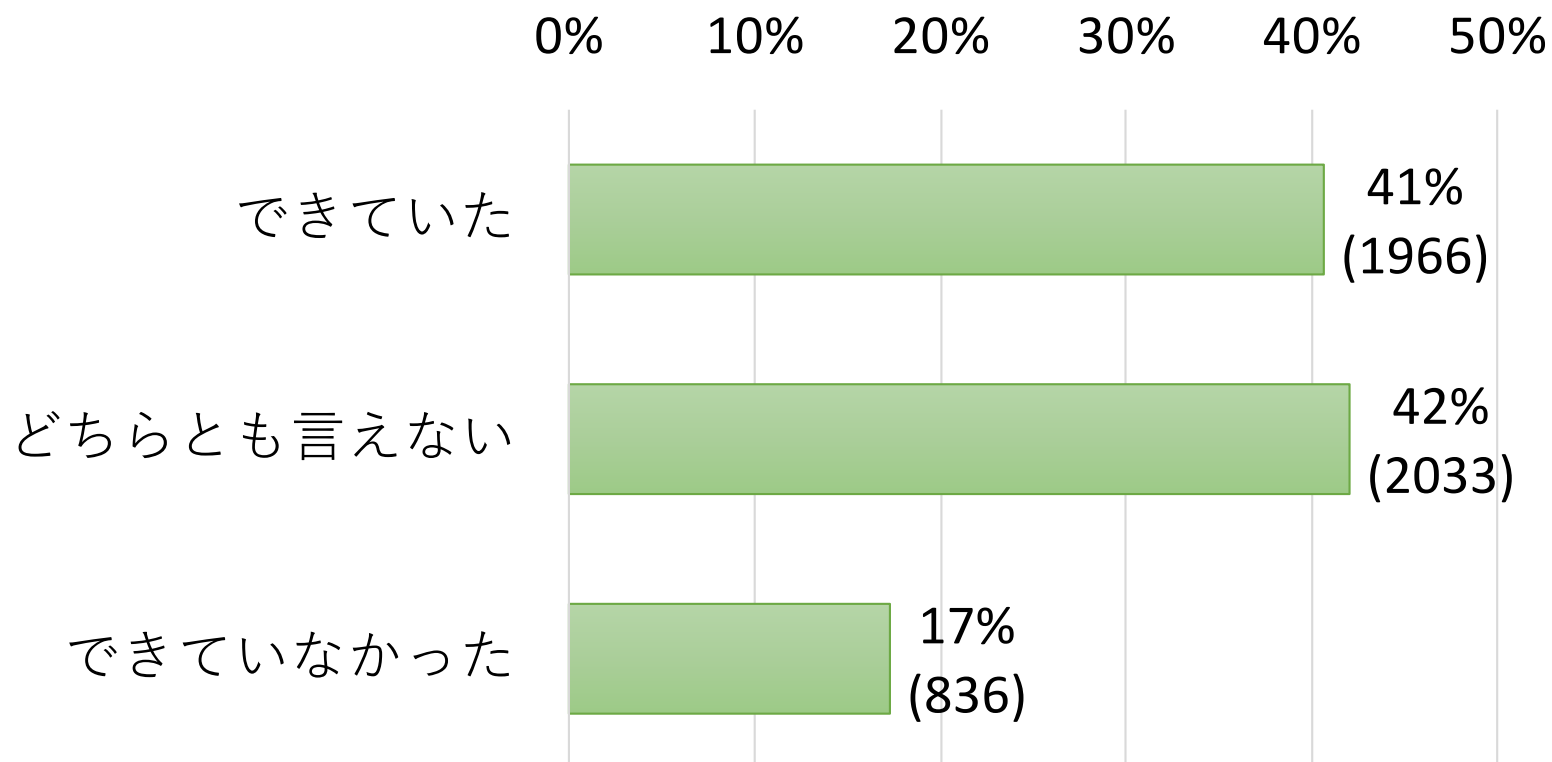


4. 春学期授業期間中にオンライン授業を何科目受講していますか（学部1年生vs.2~4年生）

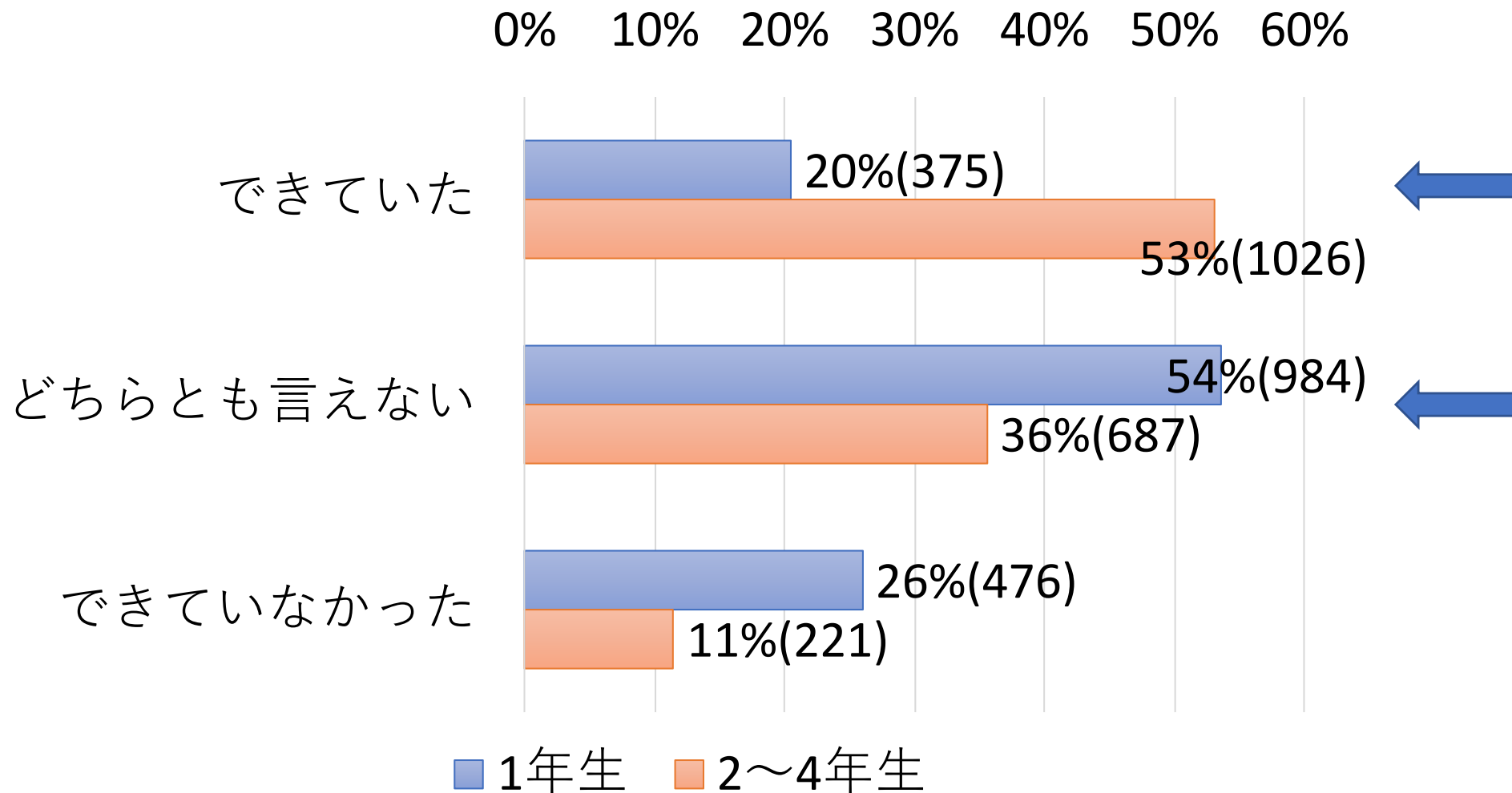


5. 春学期授業期間中に受けたオンライン授業は対 面授業を代替できていたと思いますか（全学生）

パーセント（回答数）



6. 春学期授業期間中に受けたオンライン授業は対面授業を代替できていたと思いますか (学部1年生vs.2~4年生)



7. オンライン授業の受講に関する大学側からのサポート（マニュアル、お問い合わせ対応）

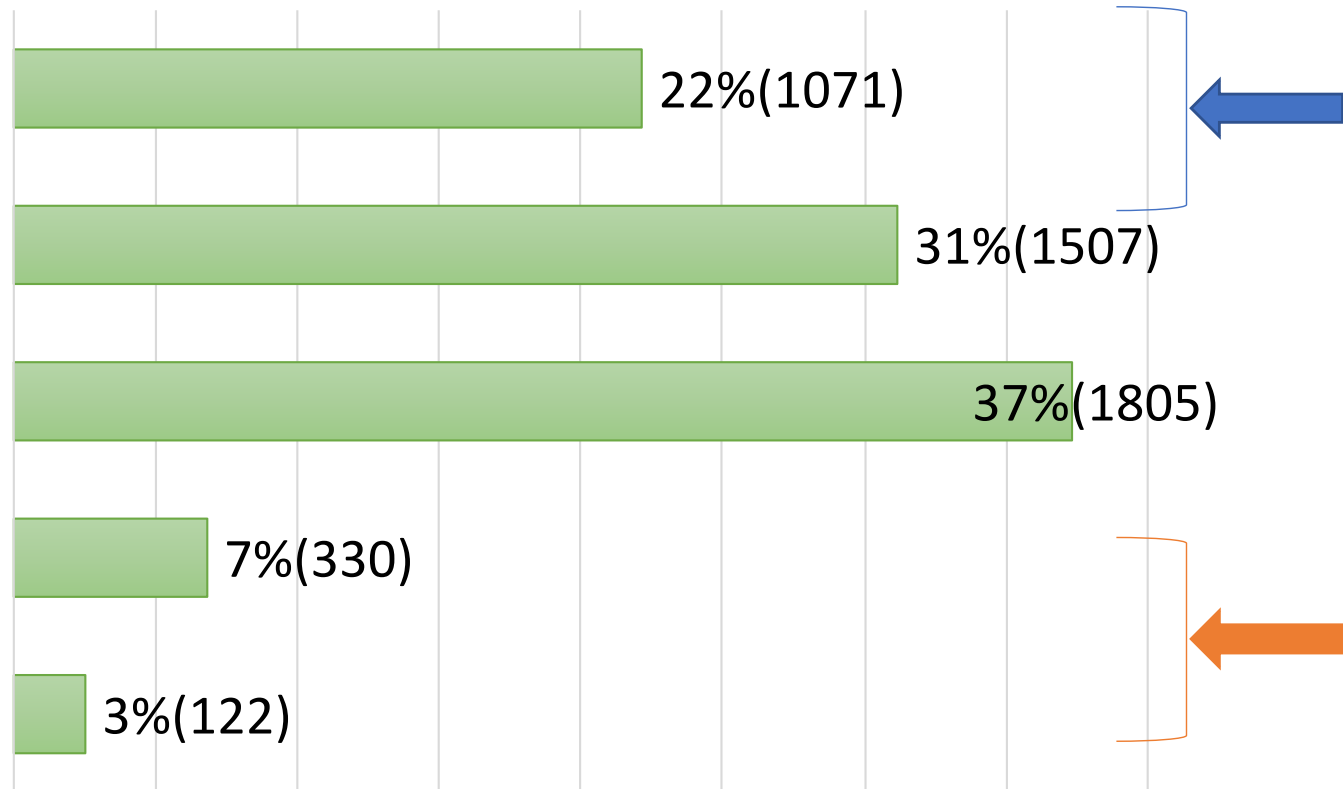
パーセント（回答数）



学生主体のサポート体制（35名程度）

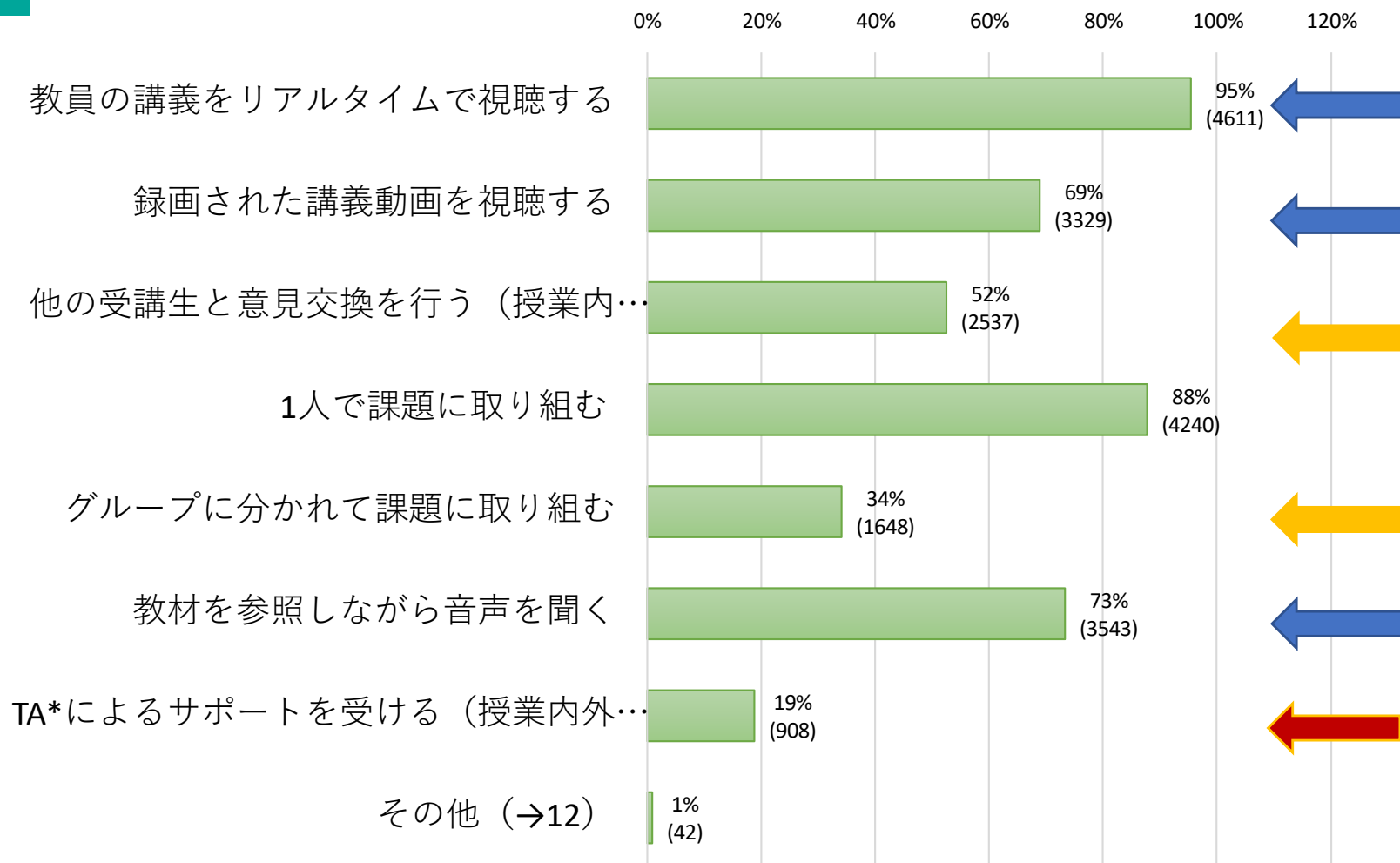
0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40%

満足
やや満足
どちらとも言えない
やや不満
不満



8. オンライン授業において経験した活動 (複数回答可)

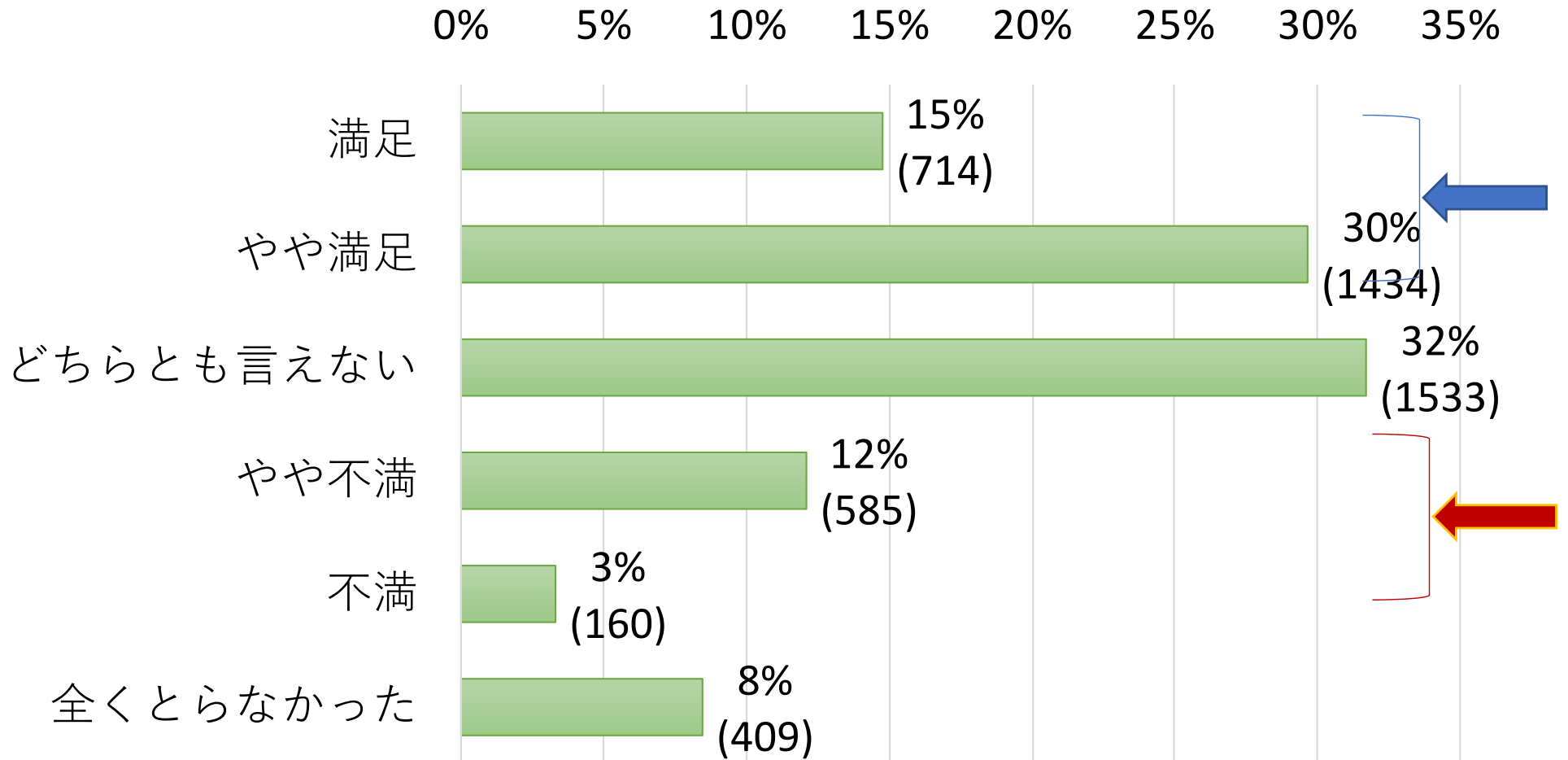
パーセント (回答数)



(解説：教員の講義をlive形式で見たり、事前に録画された講義を視聴するという形式、また個人で課題に取り組む形式が多かった。一方で、グループワークや他の受講生との意見交換に関しては、経験した学生の割合が比較的に小さい。)

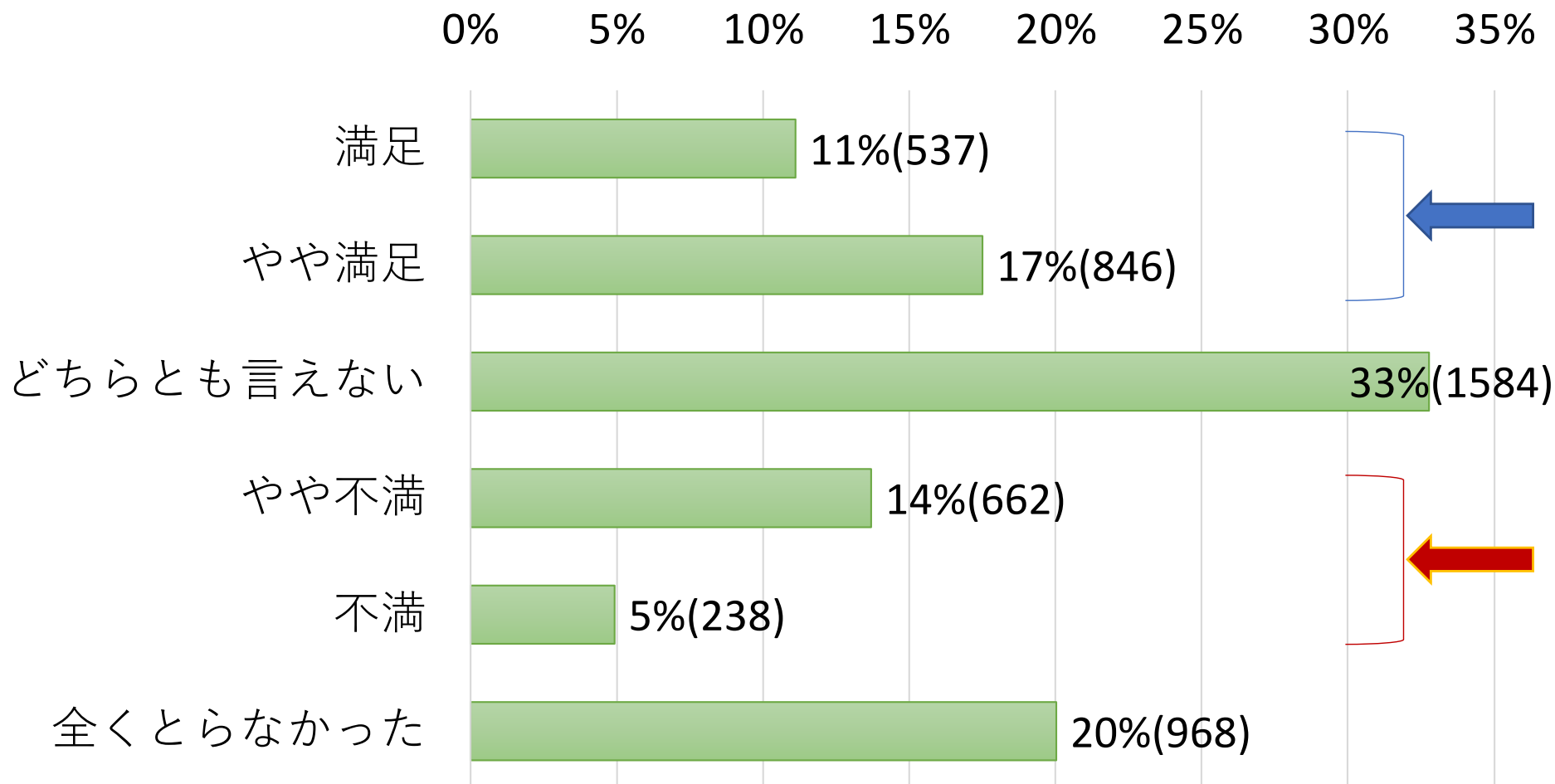
9. 学習に関する教員とのコミュニケーション

パーセント（回答数）



10. 学習に関する他の受講者とのコミュニケーション

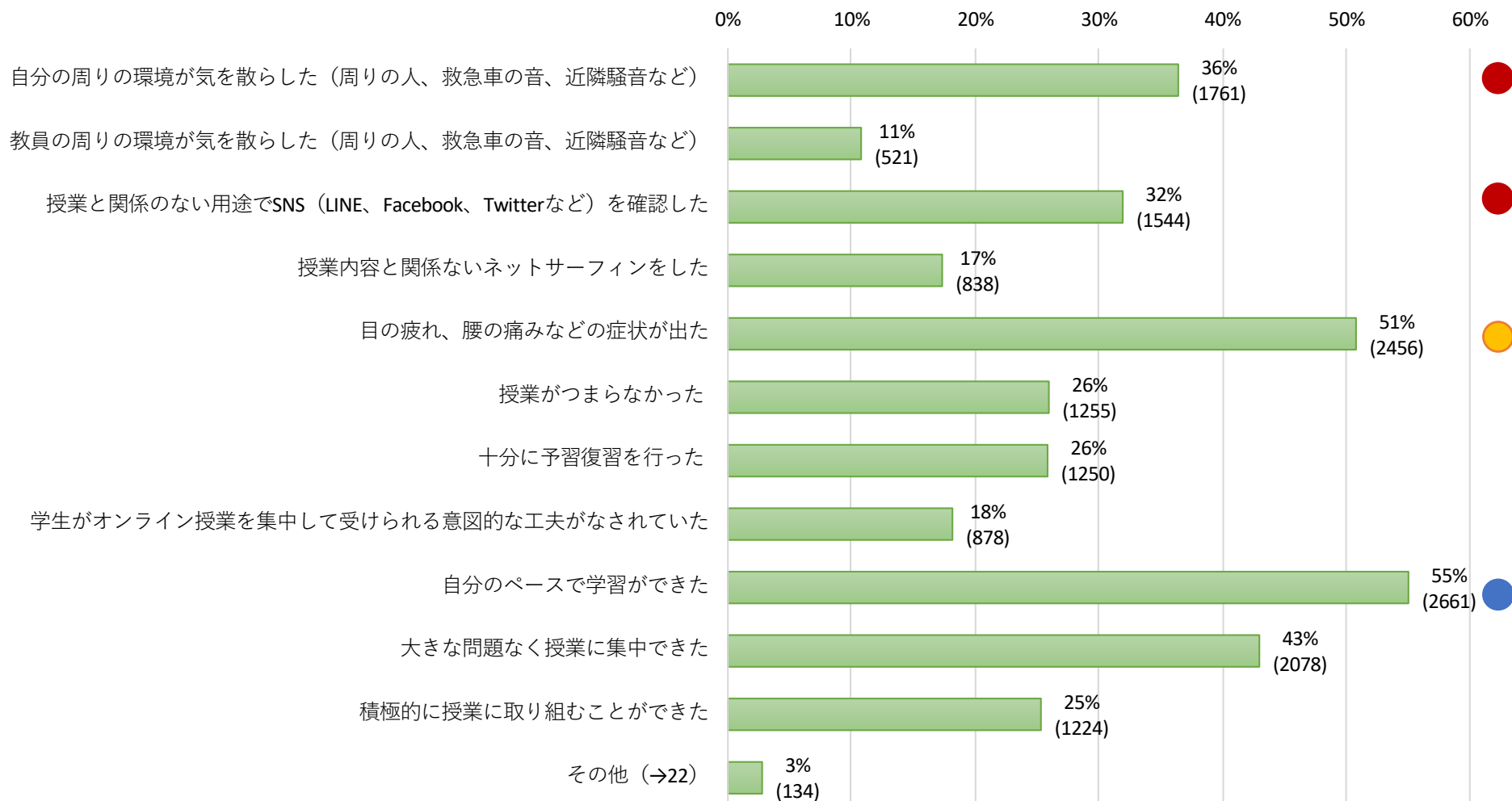
パーセント（回答数）



(解説：満足している割合が、対教員では5割弱、対他の受講生では3割弱にとどまっている。)

11. オンライン授業を受講中に感じたことや授業態度（複数回答可）

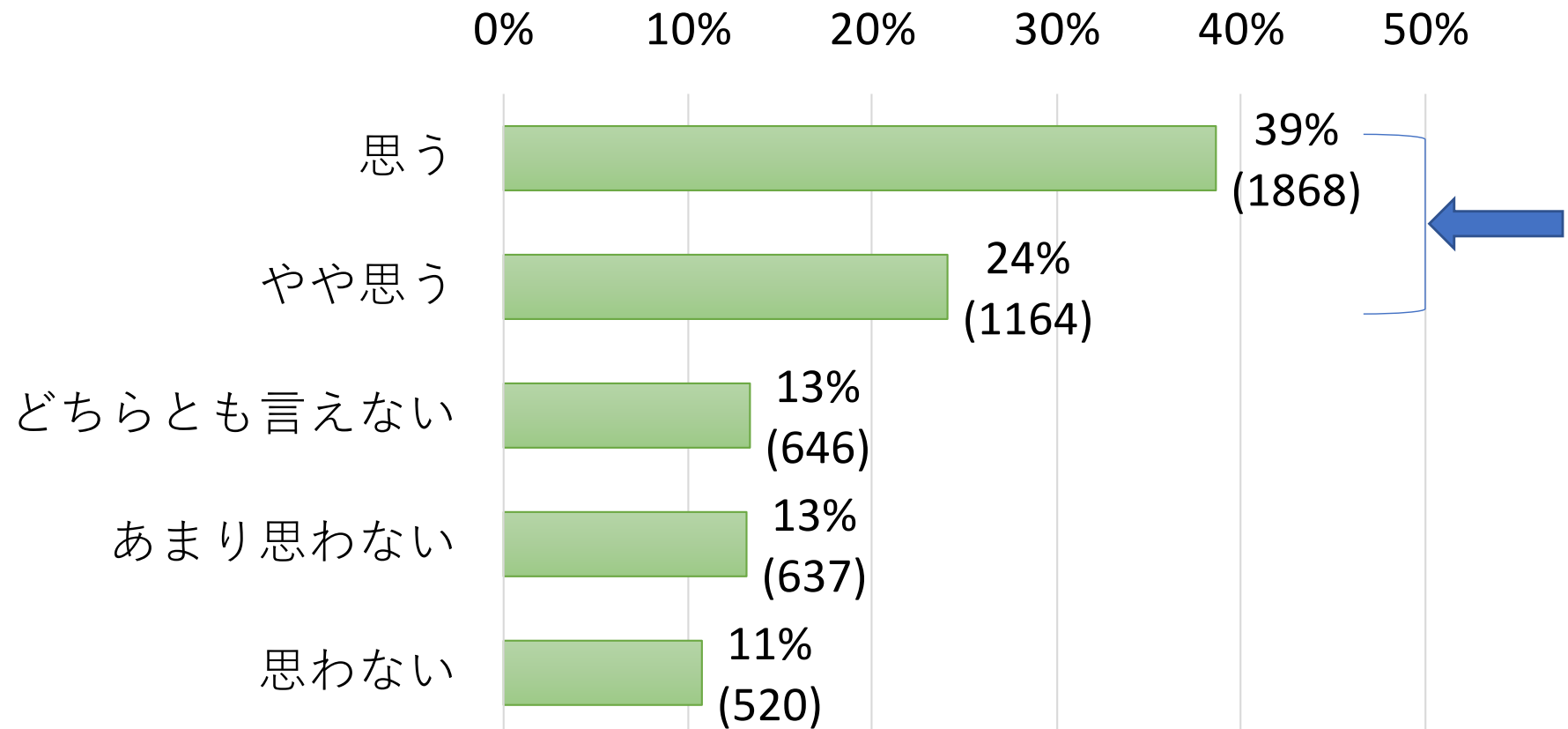
パーセント（回答数）



（解説：「自分のペースで学習ができた」に半数以上が同意している。一方、「自分の周りの環境が気を散らした」「授業と関係のない用途でSNSを確認した」には1/3以上が該当。）

12. コロナウイルス事態収束後にも一部の授業をオンライン授業形式で行ってほしいと思いますか。

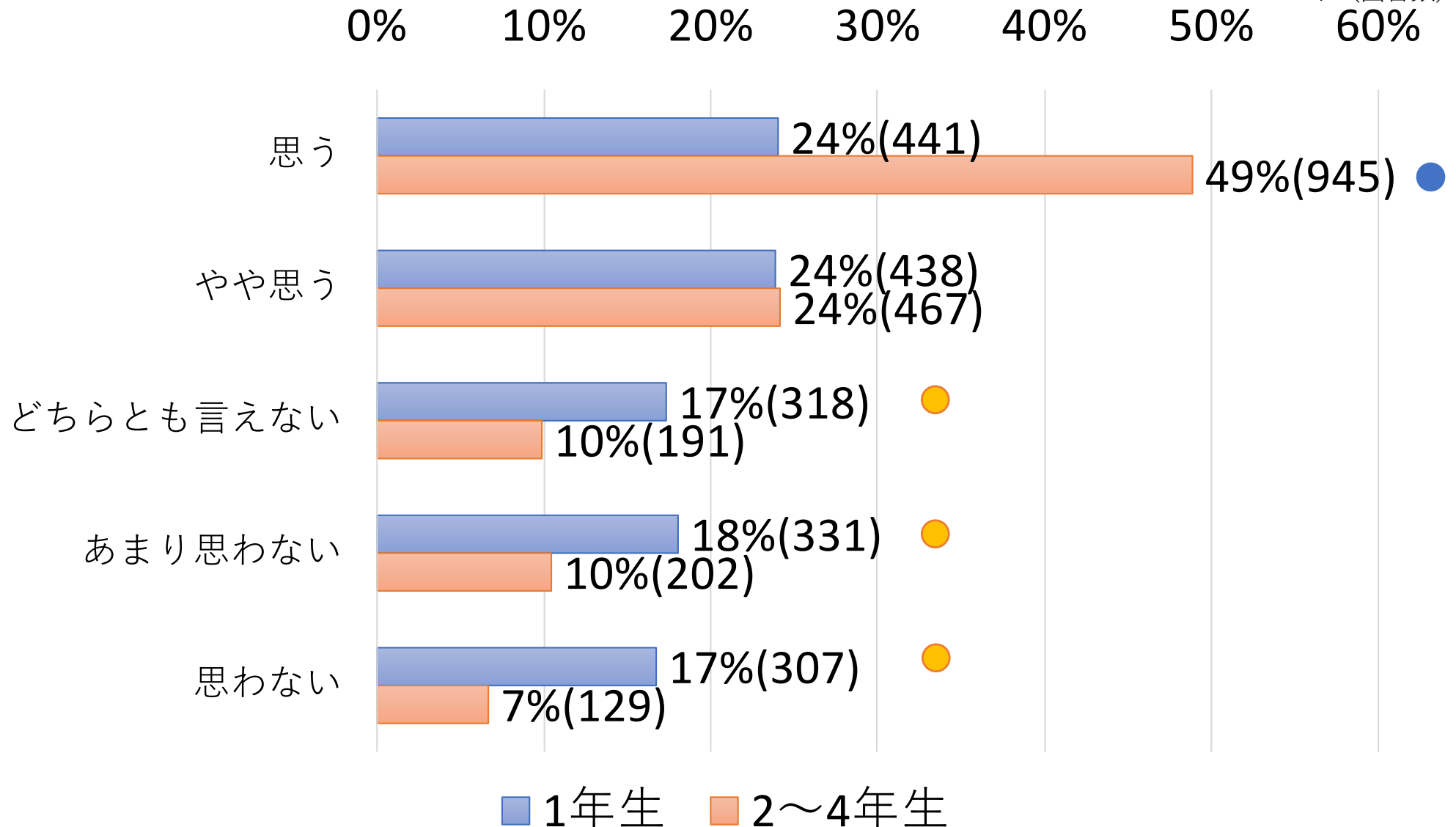
パーセント（回答数）



（解説：コロナウイルス事態収束後にも一部の授業をオンライン授業形式で行って欲しいと思う割合が6割以上であった。その理由としては、「科目によってはオンライン授業でも十分学習できると思ったため（別設問）」が9割以上であった。）

13. コロナウイルス事態収束後にも一部の授業をオンライン授業形式で行ってほしいと思いますか。

パーセント (回答数)





③ まとめと今後の展開

1. まとめ

- 九州大学の**学部1年生**は、6月上旬には約4割がキャンパス近郊に引っ越しを行っていなかった。今後、どのタイミングで移動を呼びかけるかが、一つの課題である。
- オンライン授業に対する感想：オンライン授業が対面授業を「代替できていた」とする回答が「できていなかった」とする回答の**2倍以上**であった（41%対17%）。
- 自由記述より、「**課題の量の多さ**」「**課題提出のタイミング**」「**資料のみの授業**」「**プライバシーへの配慮**」「**出席確認への配慮**」に関しては改善を強く望む学生の声が見受けられた。

2. 今後の展開

- 同時に実施した「**学生生活に関するアンケート**」との関係性についても検討（後日、HPで取りまとめ結果を公開予定）
 - 学生の精神的な健康状態とオンライン授業の関係性に関して示唆が得られる可能性
- **WGを設置**し、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた遠隔授業等の位置付けについて検討を開始
 - 遠隔授業を実施する際の方針や留意点、オンライン授業の活用方法についての検討

ご清聴ありがとうございました。